

# 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 黒川木徳フィナンシャルホールディングス株式会社

上場取引所 大

コード番号 8737 URL <http://www.kkfg.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間瀬 博行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長兼IR・広報部長 (氏名) 川中 雅浩

TEL 03-6821-0606

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	702	△76.9	666	—	△1,552	—	△1,325	—	△1,406	—
20年3月期第3四半期	3,045	△40.2	—	—	△602	—	△348	—	△1,077	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△41.70	—
20年3月期第3四半期	△42.49	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	15,318	—	8,685	—	46.6	—	211.85	
20年3月期	20,351	—	10,446	—	42.4	—	256.17	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,143百万円 20年3月期 8,637百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社グループは、投資金融サービス業を営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

除外 1社(社名:株式会社エクセルトレード)

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 34,397,701株 20年3月期 34,397,701株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 678,579株 20年3月期 678,098株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 33,719,170株 20年3月期第3四半期 25,358,328株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）における我が国経済は、サブプライムローン問題を発端とした世界的な金融市場の混乱と世界景気の一層の下振れ懸念が強くなっており、この影響から、企業収益の低下、大規模な生産調整や設備投資の縮小が進み、また雇用情勢の急速な悪化により個人消費も低迷しており、景気の先行きは一段と厳しさを増しております。

このような環境の中、株式市場におきましては、世界経済の景気後退懸念と金融危機の影響による一層の下振れリスク等により、平成20年10月下旬に日経平均株価が7,162円92銭と大幅に下落し、1982年10月以来26年ぶりの安値となりました。その後、9,500円台まで回復したものの8,200円台まで再度下落し、平成20年12月末の日経平均株価取引は8,859円56銭で終了いたしました。

このような環境のもと、当社グループでは外国為替証拠金取引事業を営むイー・フォレックス㈱が競合他社の増加・手数料の無料化の進展などに対応すべくサービスの充実や取引システムの増強を行ってまいりましたが、同事業を取り巻く環境はますます厳しくなることが予想され、今後、単独で事業の継続は困難であると判断し、平成20年10月3日付にて同事業に関する権利義務を会社分割（吸収分割）により承継することを決議し、11月8日付にて実行いたしました。また、不動産事業への展開を図るべく平成20年12月1日付にて100%子会社として黒川木徳リアルエステート㈱を設立いたしました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間については、前述いたしました世界的な金融市場の混乱と世界景気の一層の下振れ懸念の影響を受け、東証一日平均売買高は22億15百万株（前年同四半期比0.2%増）と微増した一方で、売買代金は2兆2,156億円（前年同四半期比25.9%減）となりました。このような株式市場の変動や投資マインドの冷え込みにより、当社グループの顧客層であります個人投資家による取引が減少したことや、また前連結会計年度中に実施いたしました商品先物取引事業子会社の譲渡による事業撤退の影響により、当第3四半期連結累計期間の受入手数料は1,113百万円となりました。トレーディング損益につきましては、受入手数料と同様にアメリカ景気後退懸念などによる株式・為替市場の変動の影響を受け、506百万円の損失となりました。

また、株式市場の急激な下落を受け、投資有価証券の時価と簿価の乖離が大きくなったため、時価相当額まで評価減したことにより、投資有価証券評価損210百万円を特別損失として計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業損失は1,552百万円、経常損失は1,325百万円、当第3四半期純損失は1,406百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は15,318百万円（前連結会計年度末は20,351百万円）となり、5,033百万円減少いたしました。これは信用取引資産及び差入保証金が減少したことが主な要因であります。

負債の部は6,632百万円（前連結会計年度末は9,904百万円）となり、3,272百万円減少いたしました。これは信用取引負債が減少したことが主な要因であります。

純資産の部は8,685百万円（前連結会計年度末は10,446百万円）となり、1,761百万円減少いたしました。これは、利益剰余金及び少数株主持分が減少したことが主な要因であります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、差入保証金の減少や短期貸付金の回収による収入、借入有価証券の減少や短期借入金の返済による支出などにより、前連結会計年度末に比べ665百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には3,006百万円となっております。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は193百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失607百万円、信用取引資産及び負債の減少による収入504百万円、預託金の増加による支出252百万円などによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は388百万円となりました。これは主に貸付けによる支出367百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は328百万円となりました。これは主に短期借入金の純増336百万円によるもので

あります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、投資金融サービス業を営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

㈱エクセルトレードは、平成21年1月19日付で清算が終了したため、当第3四半期連結会計期間において、連結の範囲から除外しております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 四半期財務諸表の作成について

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ② 金融商品取引責任準備金について

従来、旧証券取引法第51条及び旧「証券会社に関する内閣府令」第35条に基づき計上しておりました「証券取引責任準備金」は、金融商品取引法施行に伴い、当1四半期連結会計期間より、同法第46条の5及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」第175条に基づき「金融商品取引責任準備金」として計上する方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べ、税金等調整前四半期純損失が153,899千円減少しております。

##### ③ リース取引について

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	3,140,477	3,803,298
預託金	3,346,483	3,185,383
顧客分別金信託	3,167,000	2,997,000
金融商品取引責任準備預託金	179,483	150,883
その他の預託金	—	37,500
有価証券	960,965	1,623,076
信用取引資産	2,239,631	5,043,537
信用取引貸付金	2,078,100	5,002,787
信用取引借証券担保金	161,531	40,750
その他の流動資産	1,197,965	2,080,268
貸倒引当金	△26,907	△3,060
流動資産計	10,858,616	15,732,504
固定資産		
有形固定資産	1,105,779	1,134,023
無形固定資産	25,293	48,780
投資その他の資産	3,329,221	3,436,312
投資有価証券	2,817,899	2,701,754
その他	1,326,345	1,382,677
貸倒引当金	△693,583	△648,118
投資損失引当金	△121,439	—
固定資産計	4,460,294	4,619,116
資産合計	15,318,911	20,351,621
<b>負債の部</b>		
流動負債		
信用取引負債	1,147,681	3,554,627
信用取引借入金	870,475	3,473,188
信用取引貸証券受入金	277,206	81,438
預り金	2,941,755	2,478,961
顧客からの預り金	2,779,446	2,431,525
その他の預り金	162,309	47,435
短期借入金	1,296,800	1,195,400
未払法人税等	21,776	6,606
賞与引当金	9,180	62,369
関係会社整理損失引当金	5,942	—
その他の流動負債	639,658	1,817,558
流動負債計	6,062,794	9,115,523
固定負債		
退職給付引当金	347,863	347,867
役員退職慰労引当金	43,980	39,010
その他の固定負債	152,700	223,033
固定負債計	544,543	609,911
特別法上の準備金		
証券取引責任準備金	—	179,483
金融商品取引責任準備金	25,584	—
特別法上の準備金計	25,584	179,483
負債合計	6,632,922	9,904,918

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,414,500	2,414,500
資本剰余金	3,753,629	3,753,629
利益剰余金	1,163,032	2,569,285
自己株式	△101,904	△101,860
株主資本合計	7,229,257	8,635,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△86,012	2,358
評価・換算差額等合計	△86,012	2,358
新株予約権	—	39,000
少数株主持分	1,542,743	1,769,790
純資産合計	8,685,989	10,446,703
負債・純資産合計	15,318,911	20,351,621

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業収益	
受入手数料	1,113,427
トレーディング損益	△506,588
金融収益	80,734
その他	14,562
営業収益計	702,136
金融費用	35,394
純営業収益	666,742
販売費・一般管理費	2,219,683
取引関係費	49,200
人件費	1,158,211
不動産関係費	210,214
事務費	167,390
減価償却費	31,082
租税公課	41,115
貸倒引当金繰入れ	69,310
その他	493,156
営業損失(△)	△1,552,940
営業外収益	250,978
負ののれん償却額	80,392
持分法による投資利益	102,281
その他	68,304
営業外費用	23,498
支払利息	11,587
その他	11,910
経常損失(△)	△1,325,460
特別利益	
金融商品取引責任準備金戻入	153,899
新株予約権戻入益	39,000
その他	20,694
特別利益	213,593
特別損失	
減損損失	89,175
投資有価証券評価損	210,836
投資損失引当金繰入額	121,439
関係会社整理損失引当金繰入額	5,942
その他	39,841
特別損失	467,234
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,579,101
法人税、住民税及び事業税	10,960
法人税等調整額	27,502
法人税等合計	38,462
少数株主損失(△)	△211,311
四半期純損失(△)	△1,406,253

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,579,101
減価償却費	31,082
減損損失	87,637
のれん償却額	1,872
負ののれん償却額	△80,392
貸倒引当金の増減額(△は減少)	69,310
投資損失引当金の増減額(△は減少)	121,439
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53,189
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,970
関係会社整理損失引当金の増減(△は減少)	5,942
投資有価証券売却損益(△は益)	△15,824
投資有価証券評価損益(△は益)	210,836
受取利息及び受取配当金	△36,626
支払利息	11,660
持分法による投資損益(△は益)	△102,281
有形固定資産除却損	3,391
無形固定資産除却損	2,394
新株予約権戻入益	△39,000
関係会社清算損益(△は益)	△2,985
売買目的有価証券の増減額(△は増加)	349,870
預託金の増減額(△は増加)	△161,100
差入保証金の増減額(△は増加)	948,030
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	396,960
立替金及び預り金の増減額	431,279
受入保証金の増減額(△は減少)	△200,029
借入有価証券の増減額(△は減少)	△354,620
外国為替証拠金の増減額(△は減少)	△277,120
信用取引未払金の増減額(△は減少)	△321,992
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△153,899
その他	35,112
小計	△666,376
利息及び配当金の受取額	52,146
利息の支払額	△12,696
法人税等の支払額	△7,732
法人税等の還付額	66,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	△568,143

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△65,574
無形固定資産の取得による支出	△8,916
投資有価証券の取得による支出	△33,820
投資有価証券の売却による収入	22,038
関係会社株式の取得による支出	△5,000
出資金の払込による支出	△5,000
貸付けによる支出	△807,832
貸付金の回収による収入	725,707
その他	△11,025
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	101,400
リース債務の返済による支出	△584
自己株式の取得による支出	△122
配当金の支払額	△551
少数株主への清算分配金の支払額	△7,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	92,542
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△665,023
現金及び現金同等物の期首残高	3,671,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,006,725

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(千円)
営業収益	3,045,005
受取手数料	2,709,812
売買損益	251,002
その他	84,189
営業費用	3,647,360
営業損失(△)	△602,355
営業外収益	266,199
営業外費用	11,902
経常損失(△)	△348,057
特別利益	93,261
特別損失	748,752
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,003,548
法人税、住民税及び事業税	15,641
法人税等調整額	34,664
少数株主利益	23,669
四半期純損失(△)	△1,077,524

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,003,548
減価償却費	42,634
のれん償却額	26,619
負ののれん償却額	△117,136
貸倒引当金の増減額	873
賞与引当金の増減額	△93,893
商品取引事故損失引当金の増減額	△268,449
退職給付引当金の増減額	△13,273
役員退職慰労引当金の増減額	△148,545
商品取引責任準備金の増減額	△85,007
受取利息及び受取配当金	△23,220
支払利息	11,133
売買目的有価証券の増減額	△53,459
出資金及び加入金償還損益	△7,035
事業撤退損失	459,157
固定資産減損損失	172,704
退職一時費用	63,826
持分変動損失	499,233
過年度損益修正損益	10,875
投資有価証券評価損	2,096
委託者未収金の増減額	38,521
差入保証金及び保管有価証券の増減額	773,022
預り証拠金の増減額	△621,116
外国為替証拠金の増減額	△117,891
預託金の増減額	1,388,000
トレーディング商品の増減額	△21,852
委託者先物取引差金の増減額	88,366
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	△319,031
立替金及び預り金の増減額	△617,655
受入保証金の増減額	△325,667
その他	65,654
小計	△194,065

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
利息及び配当金の受取額	23,114
利息の支払額	△9,780
法人税等の支払額	△178,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	△358,761
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額	1,202,500
投資有価証券の取得による支出	△649,567
投資有価証券の売却による収入	29,776
関係会社株式の取得による支出	154,548
関係会社株式の売却による収入	10,000
連結範囲の変更を伴う子会社株式の 売却による収入	1,814,177
持分法投資損益	△94,514
有形固定資産の取得による支出	△53,841
長期前払費用の増減	△12,030
出資金及び加入金の償還による収入	230,200
貸付による支出	△4,388,646
貸付金の回収による収入	1,070,637
その他	84,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△602,365
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	△75,100
自己株式の取得による支出	△57,018
配当金の支払額	△63
少数株主への配当金の支払額	△35,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,928
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増減額	△1,129,054
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,036,148
VII 現金及び現金同等物の期末残高	5,907,094